

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第72号

2019年 1月 9日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

元木市議から、かなや誠さんに バトンタッチします。

— 住民を守る防波堤の役割を果たせる議員を —

■■ 住民の声が反映される市政を 浦安市でやらせて下さい ■■



4月の統一地方選挙で、元木市議からのバトンを受け継ぐべく浦安市議選での立候補を決意しました。安心して暮らせる浦安市をめざしてがんばりたいと思います。

浦安市政を見ると、2018年の認可保育園の待機児は380人を超えています。特養ホームの待機者は230人です。さらに介護サービスからの軽度認定者の除外など、全国トップクラスの財政がありながら、市民に冷たい政治は「国言いなり」というべきものです。その中で市議会は、市長に対して一切反対をしない「イエスマン」の議員がほとんどです。常に市民に寄り添い、市民の声を議会に届けてきた議席、市民の立場で市政をチェックしてきた日本共産党の議席を減らすわけにはいきません。必ず勝ち抜きたいと思えます。

小泉政権の時、「派遣切り」が社会問題になりましたが、私は舞浜駅でアンケートに取り組み、実態を調査しました。またこの間、奨学金制度の拡充を求めて、学生とも対話を重ね、「“ご飯にシーチキンのせて食べるのが美味しい”と話す学生の実態をどうとらえ、どう支援するのか」と国会にぶつけてきました。声を集めて政治にぶつけ、住民の声が反映される政治を作っていきたい。この仕事を浦安市でやらせてください。

20年間頑張ってきた元木議員からのバトンタッチは簡単ではありません。後援会ニュースをお読みいただいている皆様、どうか力をお貸しください。よろしく願いいたします。

党市雇用・若者相談室長 かなや誠



【プロフィール】

1982年 習志野市生まれ(36歳)。
船橋芝山高校卒業、千葉商科大学中退。
2005年から党市川浦安地区委員会に勤務、青年学生部長等を歴任、現副委員長。今川在住。



■■ 熱い思いと行動力抜群の かなや誠さんを応援して下さい ■■



5期20年間、皆さまにはお世話になりありがとうございました。この度、かなや誠さんにバトンタッチします。

女性が政治家として活動することは珍しいことではなく当たり前の社会になりましたが、20年前の浦安市議会には女性議員は二人でした。今、思い起こせば、当時、女性議員として果たすべき役割はとても重く、男女共同参画、子育て、教育、介護など女性の視点から、そして日本共産党の議員として浦安市政の課題解決に私が一定の役割を果たすことができたことに感慨深い思いがあります。

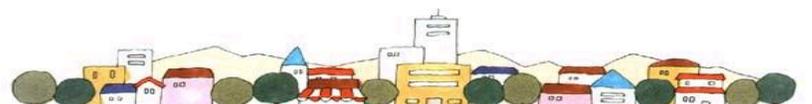
市議会議員の活動はつねに市民とともにあります。市民の声と願いを誠実に敏感に受け止めて市政に反映するために骨身を惜しまずに活動すること、私はこれをこれまでの議員としての政治信条としてきました。

今、地方政治が国の下請け機関となっています。浦安市も例外ではありません。今、求められているのは「国に右へならへではなく、住民を守る防波堤の役割を果たせ」と市長に迫ることができる議員です。

私はこうした基本姿勢をしっかりとかなや誠さんに引継ぎます。かなや誠さんは私から受け取ったバトンを必ず実のあるものにして皆さんに届けてくださる熱い思いと行動力抜群の方です。

みなさんのご支援を心からお願いします。

市議会議員 元木美奈子



ゆずり葉

村上 ますえ

元木さんから金谷さんへ

地域に根を張り

枝葉を茂らせて二十年

市民の暮らしを守って

厳しい要求と追及をし続けた

片や 豊かな木陰には

鳥を憩わせ

人々の集いと安らぎの場をつくった

若芽を見とどけ 春先

自らの生命を託して

葉を落とすというゆずり葉

新春の飾りはこの故事にならうという

私たちは今

その継承のドラマに立ち会う

大樹に寄り添って立つ若木

すくすくと枝葉を広げんと

エネルギーに満ち満ちたその姿

この活力を信じよう

「市民の暮らしを守って」

受け継ぐこの信念を支えよう

豊かな街づくりへの願いを託して



日本共産党

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。後援会のみなさんの日頃のご支援に心から感謝いたします。

今年も、統一地方選挙と参議院選挙の年。春の統一地方選挙で日本共産党の躍進の大波をおこし、夏の参議院選挙では市民と野党の共闘の勝利と日本共産党の躍進をかちとり、安倍政権を退陣に追い込む年にしようではありませんか。

沖縄県知事選挙の勝利は、一点で結束して心をついたたかえば強権政治を打ち破ることができると示しました。昨年末の臨時国会では、世論と野党の結束で安倍改憲案の提示を断念に追い込みました。

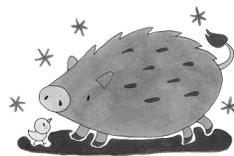
2010年代最後の年を、新しい希望ある政治をひらく年とするために全力をつくす決意です。ことしもどうぞよろしくお願いします。

日本共産党委員長・衆議院議員 志位 和夫

日本共産党書記局長・参議院議員 小池 晃

日本共産党衆議院議員 畑野 君枝

新春 のつどい



■日時 2月3日(日)

【開場 午後1時半、開始 午後2時】

■会場 浦安市民プラザ Wave101 中ホール

■参加 無料

■プログラム

1. 講演 衆議院議員 畑野君枝
2. うたごえ 合唱団「楽歌声」
「どじょっこふなっこ」「子供を守るうた」「忘すれな草をあなた」他2曲
3. 参議院選挙候補者 決意表明
比例：しいばかずゆき、千葉選挙区：浅野ふみ子
4. 浦安市議選候補者 決意表明
みせ麻里市議、かなや誠 党市雇用・若者相談室長

編集後記

昨年のお世相を表す「今年の漢字」は、相次いだ自然災害を象徴する「災」でした。

六月の大阪北部地震、七月の西日本豪雨、九月には関西空港をマヒにした台風二一号、さらに北海道地震によるブラックアウト、夏は災害級の猛暑でした。ひと昔前には五十年、百年に一度と言われた災害が毎年のように起きています。しかし大きな被害を「自然災害」だからと一言で済ますわけにはいきません。被害を大きくしているのは「人災」なのです。

西日本豪雨では岡山県・広島県の河川の堤防が決壊しました。三年前の「鬼怒川水害」の教訓が活かされていない、歴代の自民党政権はダム建設を優先し堤防補強を後回しにしてきたのです。

安倍首相は昨年の漢字に「転」を選びました。「起承転結」の「転」の意味だそうですが、私には「転ぶ」が真っ先に思い浮かびました。

今年も統一地方選挙、参議院選挙と続きます。選挙に勝ち、悪政を続ける安倍政権を退陣の坂に転がし、米国・大企業優先の政治を国民優先の政治に大きく転換させましょう。みなさん日本共産党を応援して下さい！
(松木)